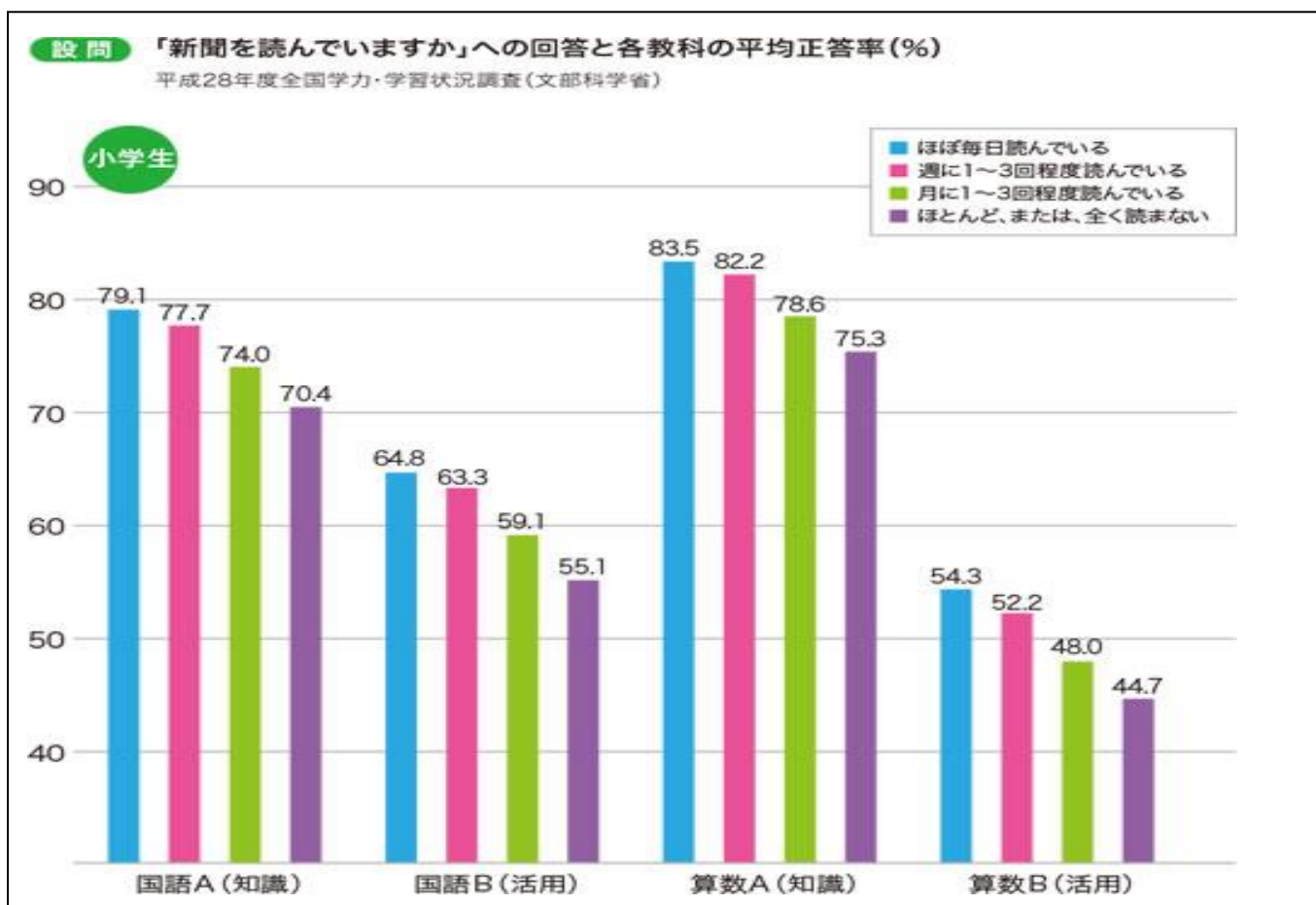


## 子ども新聞の利用で興味関心の発掘を!

図表を利用した中学入試は、中高一貫校入試で多々採用されています。川口市立高等学校中高一貫校にもその傾向が鮮明にみられます。

その趣旨は、小・中学校の新学習指導要領においてESD（Education for Sustainable Development）が現行指導要領よりいっそう重視され、各教科学習などにも関連する内容が盛り込まれるそうですが、日常生活の中の出来事を新聞などを通して学んでほしいということではないでしょうか。学習と日常生活の中の出来事との一体化は、教科書の中だけの知識を超えるものとして、生きた学習を進める有効な学習方法と考えられていると思われます。そのような学習を進めるツールとして「子ども新聞」は最適な媒体の一つであると考え利用しています。



川口市立中高一貫校入試における「子ども新聞」などの図表を利用すると思われる作文も、読んだことを要約する力、さらには、そこに自らの考えを加えていくという発展形を含み、まさに川口中高一貫校が入学後に目指している学習の在り方が、推測されます。

中高一貫校を受験するしないにかかわらず、「子ども新聞」などの現在形の教材を基に、要約し様々考えまとめて発表することは、学習の王道であり、豊かな学力形成に向かって一歩も二歩も踏み出すものと考えます。「子ども新聞」は、新聞社を問わず、多様な記事で埋まっており、子どもたちの興味関心を見つけ出す意味でも価値ある文字媒体であると思います。通り過ぎない着実な閲覧は確かなものを生み出すと確信しております。

子育ては ゆっくり じっくり ていねいに!